



## 倉田百三ゆかりの地

文豪倉田百三は、明治三十四年（一八九一）に、父郡庄原町（現庄原市中本町）で生まれ、一二歳のとき病気で東京の第一高等学校を退学し、ふるさと庄原に帰り、当時この地にあった倉田家の別荘の離れて療養しながら執筆しました。

有名な作品は戯曲「出家とその弟子」などがあり、倉田百三文学館庄原田園文化センター内に展示しています。庄原市ではこのゆかりの地を無料休憩所として使用しています。

庄原市

## 倉田百三ゆかりの地

文豪倉田百三は、明治二四年（一八九一）比婆郡庄原町（現庄原市中本町）で生まれ、一二歳のとき病気で東京の第一高等学校を退学し、ふるさと庄原に帰り、当時この地にあった倉田家の別荘の離れで療養しながら執筆しました。

有名な作品は戯曲「出家とその弟子」などがあり、倉田百三文学館（庄原公園文化センター内）に展示しています。庄原市ではこのゆかりの地を無料休憩所として使用しています。

庄原市



宗水寮

無料お休み処  
倉田百三ゆかりの館